

# 激変する教育・研修・学習をテーマに取組む

## 日本 e-Learning 大賞授与式

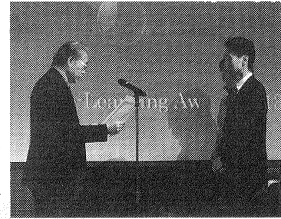


審査委員長を囲む受賞者たち

「e-Learningを取り巻く現状と未来」について豊富な事例とともに紹介・発表・議論する国内唯一の総合フォーラム「e-Learningアワード2013フォーラム」が11月20日から22日まで、東京・御茶ノ水の「ソラシティ」において開催された。

フォーラムでは先進事例を広く募集、省庁が表彰する「日本e-Learning大賞」授与式が併催され、さらに盛り上がった。00年に産声をあげたe-Learningが、現在、教育研修において革命的進化を起こしつつある。いよいよe-Learningは真価を発揮し始めたようだ。学習塾、各社でもこぞITスマホ、タブレットPC、電子書籍端末を活用することから高度な専門知識・スキル習得、幹部育成や顧客啓蒙まで、実にさまざまな場面でe-Learningが利用されるようになってきた。官庁や自治体においても、いつでも、地理的制約なく、均一品質で提供できるe-Learningの活用が日常的になつており、何十万人、何百万人という単位での受講が日々積み重ねられている。この節目に、業界としても一大ムーブメントを起こすべく、「激変する教育・研修・学習」というテーマが設定された。

大賞に(株)タオの学習システム  
11月20日の開会式に



授与表彰にタオのスタッフ(右)に表彰状

Smart Jean King部門賞、アルクスプラト(株)「MO KA えいご漬」

続いて、12時より、第10回「日本e-Learning大賞」の授賞式が行われた。今年で10回目を迎えた「日本e-Learning大賞」は、その年を代表する優秀なe-Learning活用事例・サービスに対し、最優秀賞である「日本e-Learning大賞」、および「経済産業大臣賞」、「文部科学大臣賞」など4大臣賞、各部門賞を授与するもので、このフォーラムのメインイベントといえるのがこの授賞式だ。この日、各賞を受賞したのは以下の企業・団体となった。

- ▼英語ライティング部門賞：フルーツフルイングリッシュ・リミテッド「フルーツフルイングリッシュ」
- ▼クラスルームソリューション部門賞：ソニーエンジニアリング(株)「Tenoboo21世紀型クラスルームソリューション」
- ▼グローバル人材育成部門賞：早稲田大学／(株)早稲田総研「インターナショナル・オンラインプレゼンテーションを活用したグローバル人材育成」
- ▼ゲームフィケーション部門賞：(株)日立ソリューションズ「クイズ形式で情報セキュリティを学べるFlashコンテンツ『Dr.セシルシリーズ』」
- ▼品質保証・学習達成評価部門賞：武庫川女子大学「学生1万人のPC操作教育を反転授業化し、学習効果効率の向上を実現した操作評価型eポートフォリオ」
- ▼Asia e-Learning Forum Award：Water bear soft(Japan)(株)「MAX英会話(基礎入門編)ーこれがネイティブの英語!」
- ▼Asia e-Learning Forum Award：財団法人資訊工業策進会「GYN-GYN ー脳力活性化」
- ▼経済産業大臣賞：(株)ネットラーニング「e-Learningオーサリングツール『かんたんシリーズ』」
- ▼文部科学大臣賞：近畿大学附属高等学校「いつも、となりに、学校がiPad×プラットフォームが実現させる、理想の1to1教育への挑戦」
- ▼総務大臣賞：阪神高速道路(株)「都市高速道路の交通事故削減を目指した個別の安全運転教育ツール『阪高SAFE TYナビ』」
- ▼厚生労働大臣賞：(株)B&D「目標共有型コミュニケーションシステム「haha! Do!」ーロボット製薬100日PJにて健康増進を実現」
- ▼日本e-Learning大賞：(株)タオ「CAI、プリント、ビデオをフル装備した日本最大のトータル学習システム、『天神』だからできたこと」



J-Streamの展示

このフォーラムでは、各社が優れた製品やシステムを紹介する展示ブースが展開され、(株)J-Streamも出展した。

三副審査委員長が「日本e-Learning大賞」の目的や今年の傾向と受賞理由などについて講評を述べ、それを受けて「日本e-Learning大賞」および各大臣賞受賞者が栄冠に輝いた作品の優れた点、および創意工夫のポイントや教育効果を語るプレゼンテーションも行われた。

■J-Streamが出展

このフォーラムがネットなどのブロードバンド接続事業者、国内主要ISP、データセンター、CDNなどと協力関係を結び、「RealMedia」、「Windows Media」、「QuickTime」、「PVPPlatform」、「AdobeFlash」の主要フォーマットをサポートすることで、回線環境や接続端末、配信方式に依存しない大規模ストリーミングインフラの整備を進めてきた。現在では国内随一の配信実績と高度な運用技術を生かして配信だけでなく、さまざまなウェブサイト制作などを含むストリーミング関連サービス全般を提供している。この展示会では、①配信先を限定した動画配信を撮影から配信までワンストップで提供するサービス、②商品紹介やデモンストレーションなど、Webサイト用動画コンテンツを手軽に制作する「J-Studio HD」、③ビジネスシーンでの動画活用を簡単に始めるために必要となる機能を一通りそろえた動画プラットフォームASPサービス「i-Stream Equipment」などを紹介した。同社のサービスはすでに1万件、700社以上の実績を誇っている。

▼ASD (Application Service Provider)：アプリケーションソフトなどのサービス(機能)をネットワーク経由で提供する「クラウド」提供事業者・人・仕組みなど全般。(N)

10月のPC国内出荷実績

(株)電子情報技術産業協会(JEITA)は、本年10月のパーソナルコンピュータ国内出荷台数は96万3千台(前年比119.9%)で、うちデスクトップPCが29万6千台(同131.2%)、ノート型が66万7千台(同115.6%)であり、ノート型比率は69.3%であった。全体的に前年を上回る二桁伸長となった。